

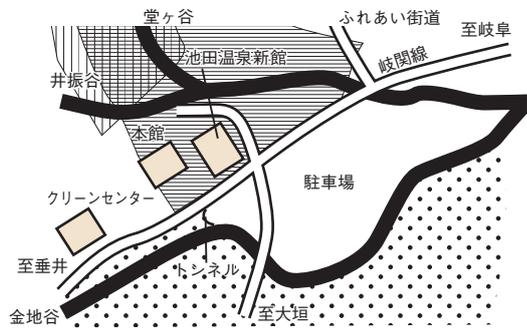
窪田弘子 議員

池田温泉付近の航空写真  
点線わく内のみ町有地  
(土地開発公社も含む)

## 「道の駅」は 池田温泉のためにならない

私（町長）の選挙公約の一つだ

急傾斜地崩壊危険箇所 土石流危険区域  
砂防指定地 谷



真中の安全地帯（駐車場）が道の駅予定地

池田温泉の本館新館とも土石流危険区域にあり、北側は急傾斜地崩壊危険箇所で谷の合流点がある。南の駐車場の南の山は砂防指定地。集中豪雨や地震災害も想定しなくてはならない。今度町が買つた南の駐車場はポッカリ安全地帯で広さ・地

形交通の便からも将来の温泉建設用地として最適、何も建てず残すべきだ。補助金をもらって建てたらもう壊せない。

新館は道路改良で道も今より1.5m下がって登るのも大変になるのに、道の駅が出来たら温泉客はさらに駐車場が遠く不便になる。お客様を大事にしないと。道の駅の主目的は地元農産物販売。それは東の方に土地だけ貸して民間に経営してもらえばいい話だ。

特に先進地との交流はやる気のある職員にとっていい経験だ。多くの自治体がやっている。

## 職員の人事交流をして 行政のレベルアップを 機会があれば進めていく

善政競争には必要だ。

町長

民間派遣も含め考え

ている。職員にはインターネットなどでも自己研鑽するよう言っている。

必然性のない道の駅に3億5千万円は使えない。少しでも余裕があったら、平成38年までかかる下水道事業を早めるなり、八幡小改築に取りかかるべきだ。

町長

まだ総事業費もつかんでいないが、建てるのは真中の西北よりの部分で小さいものだ。温泉を建て直すにしても土地は充分ある。

### 道の駅立地検討調査委託業務

平成18年12月

#### 概要

計画地は、池田温泉と斜向かいとなる土地にあって大垣池田線と岐阜関ヶ原線に面している約25,000㎡の広大な敷地である。今回の計画では、現在盛況である池田温泉の駐車場も兼ねた一体の計画として道の駅登録申請を行うものである。また、岐阜関ヶ原線にあって現在工事中のトンネルも開通し、池田温泉の利用者はますます増えるものと考えられる。

当該計画地においては現在温泉施設の並びで農産物販売所が建てられているが池田温泉の賑わいに乗じて盛況となっている。これらの状況を踏まえ道の駅としては農産物販売所を取り込み地域振興施設を併設する方針である。

池田町役場

道の駅は農産物販売所が中心